年間授業計画　新様式例

高等学校 令和４年度（１学年用）　教科　芸術　　科目　音楽Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　音楽Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　6 組

教科担当者：（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）（　組：　　）

使用教科書：（ MOUSA１　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　音楽Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			歌	器	創						
1学期	・校歌を歌うために必要な発声方法（ふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方）などの技能を身に付ける。 ・他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける。	【校歌練習】	○				・校歌を歌うために必要な発声方法（ふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方）などの技能を身に付けている。 ・他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。	○	○	○	10
	・音楽を表現をするために必要な技能を身に付ける。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫する。	【アルト・リコーダー基礎】 アヴェ・マリア		○			・音楽を表現をするために必要な技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。	○	○	○	10
	・他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける。 ・主体的・協働的に合唱に取り組む。	【合唱練習】	○				・他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。 ・主体的・協働的に合唱に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	・音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わりについて理解する。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら関わりについて理解する。	【ベートーヴェン　交響曲第９番合唱付き】				○	・音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わりについて理解している。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら関わりについて理解している。	○	○	○	10
2学期	・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な，旋律をつくったり，つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付ける。 ・主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。	【旋律の雰囲気を変化させよう】			○		・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な，旋律をつくったり，つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付けている。 ・主体的・協働的に創作の学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	10
	・曲想と音楽の構造や歌詞，文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。	【この道】	○			○	・曲想と音楽の構造や歌詞，文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	○	○	○	10
3学期	・曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚・感受しながら自己のイメージをもって創意工夫する。 ・主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	【アルト・リコーダー】 シチリアーナ		○		○	・曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚・感受しながら自己のイメージをもって創意工夫している。 ・主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	10
											合計 70

東京都立東村山西高等学校　令和４年度　科目名　年間指導計画

教科：（芸術）　科目：（音楽Ⅱ）　対象：（第２学年１組～５組　必修選択）　単位数：２単位

使用教科書：高校生の音楽２（教育芸術社）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「音楽Ⅱ」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
４月	・オリエンテーション ・合唱声部分け ・リコーダー班編成とパート決め	オリエンテーション；一年間の授業の流れや授業を受ける心構え、評価について理解する。 混声４部合唱の声部分けをし、合唱授業の準備とする。 リコーダーの班分けを行い、また、班毎にパートわけを行う。	・自ら積極的に歌唱や、リコーダー演奏、リズムアンサンブルの演奏に関われているか？ ・アルトリコーダーのアンサンブルのバランス、ハーモニー、音楽表現などが的確にできているか？ ・独唱曲『Ｏ　ｓｏｌｅ　ｍｉｏ』でのイタリア語の的確な発音、外国曲歌唱により、外国の文化の理解がなされているか？ ・クラッピングカルテットにおける各班毎のアンサンブル習得と、協調性が養われたか？ ・鑑賞教材において適格なレポートがなされているか？	4
５月	混声４部合唱曲『いざたて戦人よ』 独唱『Ｏ　ｓｏｌｅ　ｍｉｏ』 アルトリコーダー３重奏『ロンド』 楽典『音程』	ア・カペラ混声４部合唱『いざたて戦人よ』の各声部のバランス、ハーモニー、強弱などの表現が的確になされているか？リコーダー３重奏『ロンド』の班別アンサンブルが、良好になされているか？楽典『音程』について理解がなされているか？		8
６月	独唱『Ｏ　ｓｏｌｅ　ｍｉｏ』 楽典『音程』	独唱『Ｏ　ｓｏｌｅ　ｍｉｏ』を原語で歌唱することにより、他の国の文化の理解ができたか？ 楽典『音程』の理解を深め、他の音楽分野に生かす。		8
７月	１学期の反省とまとめ	１学期の取組の反省とまとめを行う。		4
９月	リズムアンサンブル 『クラッピングカルテットＮｏ２』 アルトリコーダー『いつも何度でも』 混声４部合唱『右から２番目の星』	/リズムアンサンブル『クラッピングカルテットNO２』を行うにあたって、班編成とパートの分担を生徒同士で行う。班での発表のために班毎の練習が的確に行われているか？ ・アルトリコーダーでの器楽合奏において適格な表現ができているか？ ・混声合唱においてバランス、ハーモニー、強弱の表現などが的確に行われているか？		8
１０月	リズムアンサンブル 『クラッピングカルテットＮｏ２』 アルトリコーダー『いつも何度でも』 混声４部合唱『右から２番目の星』	・リズムアンサンブル『クラッピングカルテットNO２』を行うにあたって、班編成とパートの分担を生徒同士で行う。班での発表のために班毎の練習が的確に行われているか？ ・アルトリコーダーでの器楽合奏において適格な表現ができているか？ ・混声合唱においてバランス、ハーモニー、強弱の表現などが的確に行われているか？		8
１１月	リズムアンサンブル 『クラッピングカルテットＮｏ２』 アルトリコーダー『いつも何度でも』 混声４部合唱『右から２番目の星』	・リズムアンサンブル『クラッピングカルテットNO２』を行うにあたって、班編成とパートの分担を生徒同士で行う。班での発表のために班毎の練習が的確に行われているか？ ・アルトリコーダーでの器楽合奏において適格な表現ができているか？ ・混声合唱においてバランス、ハーモニー、強弱の表現などが的確に行われているか？		8
１２月	２学期の反省とまとめ	２学期の取組の反省とまとめを行う。		4
１月	合唱『合唱祭の課題曲』の練習 鑑賞教材『ボレロ』『キャッツ』	合唱祭におけるアカペラ課題曲の練習では、音楽選択者として、クラスの他の芸術選択者のリーダーとなり歌唱できるか？鑑賞教材ではそのレポートが的確になされているか？		8
２月	合唱『合唱祭の課題曲』の練習 鑑賞教材『ボレロ』『キャッツ』	合唱祭におけるアカペラ課題曲の練習では、音楽選択者として、クラスの他の芸術選択者のリーダーとなり歌唱できるか？鑑賞教材ではそのレポートが的確になされているか？		8
３月	一年間の反省とまとめ	一年間の取組の反省とまとめを行う。		2

東京都立東村山西高等学校　令和４年度　科目名　年間指導計画

教科：（芸術）　科目：（音楽Ⅲ）　対象：（第３学年１組～６組　必修選択）　単位数：２単位

使用教科書：高校生の音楽３（音楽之友社）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「音楽Ⅱ」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
４月	・オリエンテーション ・合唱声部分け ・リコーダー班編成とパート決め	オリエンテーション；一年間の授業の流れや授業を受ける心構え、評価について理解する。 混声４部合唱の声部分けをし、合唱授業の準備とする。リコーダーの班分けを行い、また、班毎にパートわけを行う。	・自ら積極的に歌唱や、リコーダー演奏に関われているか？ ・歌唱基礎『コーリューブンゲン』『コンコーネ５０番』を学ぶことで正確な歌唱が身についたか？ ・リコーダー合奏のアンサンブルのバランス、ハーモニー、音楽表現などが的確にできているか？ ・独唱曲『Ombra mai fu』でのイタリア語の的確な発音、外国曲歌唱により、外国の文化の理解がなされているか？ ・キーボードの基礎と伴奏付により簡単な同様の弾き語りをすることができるか	4
５月	混声４部合唱曲『君を去りて』 独唱『Caro　mio　ben』 リコーダー4重奏『シシリアーナ』 『リパブリック賛歌』	歌唱。コーリューブンゲン、コンコーネの歌唱基礎でしっかりとした音程、リズム、階名の把握ができているか？混声合唱曲『君を去りて』で、的確なハーモニーが習得できたか？リコーダー合奏において、各パートの役割と的確な運指ができているか？		8
６月	合唱祭のアトラクションの曲	合唱祭におけるアトラクションの練習では、最高学年の音楽選択者の歌唱できるか？鑑賞教材ではそのレポートが的確になされているか？		8
７月	１学期の反省とまとめ	１学期の取り組みと反省とまとめ		4
９月	歌唱：コンコーネ５０番『Ombra mai fu』を言語歌詞で歌う　　キーボードの基礎（童謡などの伴奏付）	歌唱のコンコーネについては引き続き正確な音程で歌唱できるか？原語唱をすることによりイタリア語の発音が的確にできたか。また、原語歌唱で外国の文化を知ることができたか？キーボードの基礎を学ぶことにより弾き語りの基礎が学べ高＞		8
１０月	歌唱：コンコーネ５０番　『Ombra mai fu』を原語歌詞で歌う　　キーボードの基礎（童謡などの伴奏付）	歌唱のコンコーネについては引き続き正確な音程で歌唱できるか？原語唱をすることによりイタリア語の発音が的確にできたか。また、原語歌唱で外国の文化を知ることができたか？キーボードの基礎を学ぶことにより弾き語りの基礎が学べ高＞		8
１１月	歌唱：コンコーネ５０番　『Ombra mai fu』を言語歌詞で歌う　　キーボードの基礎（童謡などの伴奏付）	歌唱のコンコーネについては引き続き正確な音程で歌唱できるか？原語唱をすることによりイタリア語の発音が的確にできたか。また、原語歌唱で外国の文化を知ることができたか？キーボードの基礎を学ぶことにより弾き語りの基礎が学べ高＞		8
１２月	２学期の反省とまとめ	２学期の取組の反省とまとめを行う。		4
１月	独唱『Caro mio ben』『Grolia　in excersis deo』 リコーダー合奏『夢見る人』	独唱『Caro　mio ben』を原語で歌唱することにより他の国の文化の理解ができたか？ キーボードの基礎（伴奏付）を学ぶことで、弾き語りの基礎が学べたか？		8
２月	一年間の反省とまとめ	１年間の取り組みの反省とまとめを行う。		8

年間授業計画　新様式例

高等学校 令和４年度（１学年用）　教科　　芸術　　科目　美術Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　6 組

教科担当者：（1・２組：有賀）　（3・4組：有賀）　（5・6組：有賀）

使用教科書：（ 美術１（光村図書）　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	授業の進め方を理解する。 教員の説明を聞きながら教科書に一通り目を通し、興味を持った作品を一点選んで模写する。	【オリエンテーション】	○			○	○造形の要素の働きを理解している。○造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。○主体的に絵画の表現および作品の鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	鉛筆の削り方を学ぶ。 スケッチを描いて大まかな形をつかむ。 構図を意識して大まかな形をつかむ。3種類の濃さの鉛筆を使い分けて描く。形の狂いを修正する。デザインされた文字等を描く。	【空き缶を描く（鉛筆デッサン）】	○			○	○造形の要素の働きを理解している。○意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。○表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え創造的な表現の構想を練っている。○主体的に絵画の表現活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	色彩の学習。 混色について学ぶ。 レタリングについて学ぶ。 対になるテーマを考えて構想を練る。 色と形でテーマを表現する。	【平面構成】		○		○	○造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。○意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。○デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。○主体的にデザインの表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
2学期	本制作に入る。 自分の決めたテーマの文字を大きさ、位置を工夫してレタリングする。混色して色をつくる。はみ出し、色むらなく塗る。丁寧に仕上げる。	【平面構成】		○		○	○造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。○意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。○デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。○主体的にデザインの表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	構想を練る。 アクリルグアッシュで丁寧に彩色する。	【ピクトグラムをつくる】		○		○	○造形の要素の働きを理解している。○意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。○目的や条件、美しさなどを考え主題を生成している。○デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。○主体的にデザインの表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
3学期	持参した白黒写真をもとにアクリルグアッシュを使いグリザイユ技法で描く。有彩色で描写を進める。配色に注意する。丁寧に仕上げる。	【絵画制作（白黒写真をもとに描く）】	○			○	○意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。○表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。○自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成している。	○	○	○	18
											合計
											70

東京都立東村山西高等学校　令和４年度　科目名　年間授業計画

教科：（芸術 ）　科目：（美術Ⅱ ）　対象：（第２学年１～5 組）

教科担当者：有賀　祥

使用教科書： 美術２（光村図書）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「美術Ⅱ」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
４月	オリエンテーション 教科書作品を模写する	授業の進め方を理解する。 教員の解説を聞きながら教科書に一通り目を通し、興味を持った作品を一点選んで模写する。	・美術の課題に興味と関心を寄せ、意欲的に課題に取り組むことができる。 ・題材の制作ポイントを理解して、研究と工夫の成果が作品から読み取れる。 ・自分の主題を持ち、作品制作を行っている。 ・集中力や技術の高さが作品から読み取れる。 ・客観的に自分の作品を見つめて、ワークシートに自己評価できる。 ・作品の提出が完了している。	4
５月	「絵画制作（油絵の具）」	構想を練る アクリルガッシュでF6号の縦横半分の大きさの下図を描く 配色を検討する		8
６月	「絵画制作（油絵の具）」	本制作 鉛筆で下図をバランスよく拡大する 油絵の具で描写を始める		8
７月	「絵画制作（油絵の具）」	画面全体を見ながらバランスよく制作を進める 配色に注意する ポイントとなる部分の描写を進める		4
８月				
９月	「絵画制作（油絵の具）」	完成を意識して制作進める さらに描写を進める 細部の描写、とくにポイントとなる部分の描写を進める		8
１０月	「木彫（動物をつくる）」	構想を練る スケッチを描いてイメージを表現する 発想力を生かして表現する（実在しないオリジナルの生物でもよい、動きを工夫して表現する）		8
１１月	「木彫（動物をつくる）」	彫刻等を使って桂材を彫る 作品の形に合わせて必要があれば鋸と木工用ボンドを使って全体の形を合わせる		8
１２月	「木彫（動物をつくる）」	いろいろな角度から見ながら制作を進める 顔などポイントのなる部分を丁寧につくる		4
１月	「木彫（動物をつくる）」	アクリル絵の具または油絵の具で着色して仕上げる		8
２月	「包装紙をデザインする」	包装紙の特徴（同じ模様が繰り返される）を理解する 何を包むのか（何の店なのか）想定して構想を練る　繰り返しのパターンを工夫する アクリルガッシュで色むら、はみ出しなく塗る		8
３月	「包装紙をデザインする」	丁寧に仕上げる		2

東京都立東村山西高等学校　令和４年度　科目名　年間授業計画

教科：（芸術 ）　科目：（美術Ⅲ ）　対象：（第３学年１～６組自由選択）

教科担当者：有賀　祥

使用教科書： 美術３（光村図書）

	指導内容 【年間授業計画】	科目「美術Ⅰ」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
４月	オリエンテーション 教科書作品を模写する 自由制作（構想）	授業の進め方を理解する。 教員の解説を聞きながら教科書に一通り目を通し、興味を持った作品を一点選んで模写する。 表したいテーマを考えて作品の構想を練る。	・美術の課題に興味と関心を寄せ、意欲的に課題に取り組むことができる。 ・題材の制作ポイントを理解して、研究と工夫の成果が作品から読み取れる。 ・自分の主題を持ち、作品制作を行っている。 ・集中力や技術の高さが作品から読み取れる。 ・客観的に自分の作品を見つめて、ワークシートに自己評価できる。 ・作品の提出が完了している。	4
５月	自由制作（エスキース・マケット）	構想をもとに試作（エスキース・マケット）を制作する 本制作にあたっての課題、改善点を見つける。		8
６月	自由制作（エスキース・マケット）	試作（エスキース・マケット）を制作する		8
７月	自由制作（エスキース・マケット）	試作（エスキース・マケット）を制作する		4
８月				
９月	自由制作（本制作）	本制作に入る 必要な材料・道具を各自用意する 自分のテーマを追求して表現する		8
１０月	自由制作（本制作）	テーマに沿って制作を進める 必要があれば構想を練り直してよりよい表現を追求する		8
１１月	自由制作（本制作）	全体を見ながら制作を進める 部分と全体の調和に配慮する		8
１２月	自由制作（本制作）	細部の制作を進める 完成を意識して取り組む		4
１月	自由制作（本制作）	作品の仕上げ プレゼンテーション		4
２月				0
３月				0

東京都立東村山西高等学校　令和４年度　科目名　年間指導計画

教科：（芸術）　科目：（クラフトデザイン）　対象：（第３学年　自由選択科目）　単位数：２単位

	指導内容 【年間授業計画】	科目「クラフトデザイン」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
４月	オリエンテーション スプーンをつくる	授業の進め方を理解する。 スケッチを描き、構想を練る。	・美術の課題に興味と関心を寄せ、意欲的に課題に取り組むことができる。 ・題材の制作ポイントを理解して、研究と工夫の成果が作品から読み取れる。 ・自分の主題を持ち、作品制作を行っている。 ・集中力や技術の高さが作品から読み取れる。 ・客観的に自分の作品を見つめて、ワークシートに自己評価できる。 ・作品の提出が完了している。	4
５月	スプーンをつくる	構想をもとに作りたい形を正確に図に表す。 桂材をクラフトナイフで彫り進める。		8
６月	スプーンをつくる	桂材をクラフトナイフで彫り進める。		8
７月	スプーンをつくる	桂材をクラフトナイフで彫り進める。		4
８月				
９月	スプーンをつくる	紙やすりをかけて表面を整える。 くるみ油で塗装して仕上げる。		8
１０月	ペーパークラフト （パッケージをつくる）	構想を練る。		8
１１月	ペーパークラフト （パッケージをつくる）	構想をもとに完成予想図を描く。		8
１２月	ペーパークラフト （パッケージをつくる）	ケント紙を切り、接着して制作を進める。		4
１月	ペーパークラフト （パッケージをつくる）	細部を丁寧に仕上げて完成させる。		4
２月				
３月				